

刊夕 日三月六



農林省の米況調査

今日本省から技手と属出張 石城郡下の状態につき

農林省では米の需給關係を確立せんとする諸般の調査を本縣に行はれてゐるが會津方面の同調査を終えた農林省米穀局長政課技手山忠幸、同屬加瀬高、本縣經濟部農務課農林主事清水野貞二氏等が昨日石城郡に來郡今日農檢平支所に同郡の需要米二十七萬石乃至二十萬石は七萬石内外不足なことを炭礦方面の需要米二萬五千石、米の移出入状態から運來米二萬石(年)その他外地米の動きについても調査するところがあつた

護國の柱

上野野出身勇士

平市芳之助上等兵、石城郡入道野村の關谷出身吉田部隊に屬し中支戦線に於て活躍されてゐたが名譽の戦死を遂ぐ、同君は同村平子芳松氏の末子で村内平子左右美氏方へ婿養子となつたもの、留守宅には養父(四四)と養母ケサマツさん(四五)とせきさん(三三)との間に長男敏一君(三三)長女うい子(一)次女よし子(一)三兄弟がある

昨日平第二校で 職業指導研究会

平職業紹介所管内に開催の 第一回の試みを開始

平職業紹介所では少年職業指導研究会を管内左記五ヶ所に開催の管で昨日午前八時から此の最初の催を平第二小学校に開いた當日は紹介から立澤所長外数名出席、市の附近小学校に於ける児童の職業指導主任及び校長等約五十名を會同、指導教授參觀後これに對する批評その他第二國民たる少年職業の指導方針に關して研究協議を交はし尙ほ少年職業法規の研究、指導上の質疑應答等をなして午後三時散會には縣職業課及び教育課が

泉村産業道場

中堅男女青年指導
石城郡泉村では銚後産業の振興に農會、信用組合、養鶏組合その他各種団体の協力で從來の汲深館を同村の道場として設備を擴充し各部落から選

戦地の便り

御期待に副はんと 奮闘いたし居候

拜啓、時下國難の候と相成り申候處皆々様には益々御健勝に涉らせられ諸事御繁忙に御後援にて御多忙遊さるゝこと、推察仕り候、扱てその後は種々御世話様に相成り申候のみならず先達は銚後々授會よりの御慰問品まで御送付下され

御恩返しを心掛居候

新妻 光司

拜啓、春暖の候皆々様には益々御健勝にて御暮らしの御事と遠察申上げます、小生も元氣にて軍務に精勵いたして居りますから御安心下さい、去る日入營に際しましては一方ならぬ御厚志にあづかり有りがたく感謝申

平市葬

來る九日公會堂で
平市材木町出身故鈴木一上等兵(浙江省黨義に於て戦死)の市葬は來る九日午後一時市公會堂に於て執行する

支那單語

河をホーと呼び黄河はホアンホー、永定河はユニアンホー、運河をユインホー、揚子江の江はチアンでヤンツーチアンと稱へる、次には山の名を云つて見よう

扶助料を献金

平市四丁目藤原子さんは應召者の家族として市の軍事後援會から受けた扶助料六圓を其まゝ今日國防費として献金した

北支視察講演會

石城郡内郷村の警備炭礦青年團級支部では明日午後六時から同村演習場の綴クランに延沼縣議を聘び北支視察の講演を聴く

女給の世話で 三百圓を騙る

石城郡湯本町の天王崎生れ川又米藏(七五)は去る五月九日小名濱町の上町カフエー芝山仙助方に至り以前宇都宮に働いてゐた頗るづきの美人で營業主の伴と良い仲になり主家に居られず東京に身をかくし六百元の前借を呑みつてゐるが其れを拂へば直ぐにも伴れて來れると女給なしで困つてゐるものに乘じ内金として金三百圓を騙り東京へ行つてゐたと出たまゝ姿を晒ましてゐた

青年の勤勞献金

石城郡大野村青年團の中島分團員は勤勞で得たる金五圓を分團長大岡好雄氏(外十五名)を代表で國防費に献金した

三人組の花賭博

石城郡内郷村の宮字龍一九無職岡部茂(三六)方に於て昨日午後九時頃から岡部外同地の坑夫高田巖(三三)同村宇平太郎居住理髮業加藤榮作(四二)三名が現金賭博の花札合戦中平賀員に踏込まれて全部檢擧された

桑條の剥皮で 學用品自給

石城郡山田村で桑條の剥皮は數年來農村の副業に奨励されてゐたが抄々しくなかつたものを時局下に目ざめた石城郡山田村小学校では四年以上の児童にこれを奨め山梨縣扶桑製糸一貫目三

鈴木上等兵の 平市葬

來る九日公會堂で
平市材木町出身故鈴木一上等兵(浙江省黨義に於て戦死)の市葬は來る九日午後一時市公會堂に於て執行する

職業紹介所の葉

平職業紹介所編 [38]

旅の縁

(信一第) 生EO科本
其の筋に於て手配してるとは知らず昨日夜何喰はぬ顔で自宅へ歸つたところを捕はれた
「では行つて來ます」と見送りに来て下さつた諸先生に感動に満ちて云つた思ひは今日の来る日を一日千秋の思で待ちに待ちくたひれてゐたのであつた、この旅行こそ私達女學生として生涯二度とない愉快な思い出にもなる日である、

母フサ儀病氣の處養生不相叶六月二日午前一時卅分死去致し候 間此段御通知申上候

追而葬送の儀は來る廿二時自宅出棺市外大館青雲院に於て佛式に依り相替み可申候
昭和十四年六月三日
福島縣平市二丁目
親 根本 善吉
親 根 一 同

御會葬御禮

昭和十四年六月三日
内郷村大字高坂
男 長谷川 一 同政
親 戚 同

職業紹介所の葉

平職業紹介所編 [38]

(十三)精神又は身体の障礙に因り勞務に堪え難き者、其の状況を例へば「兩眼失明」「右腕なし」等の如く記入すること、

(十四)總動員業務従事に關する希望、國家總動員業務に従事する場合、従事の場所として内地、外地又は内地外其の何れを希望するかに従ひ希望するもの、上側に○印をつけること、

あるが今回は方面事務諸般に對しての協議の由

青年の勤勞献金

三人組の花賭博

扶助料を献金

北支視察講演會

女給の世話で三百圓を騙る

桑條の剥皮で學用品自給

平市葬

職業紹介所の葉

職業紹介所の葉

平職業紹介所編 [38]

指定學校等並に申告要記入例は(一)に略す

(二)從業者使用制限
從業者雇入制限令は國家總動員法第六條に基き發動されたもので、専ら勞働者の争奪防止を目的としてゐる即ち現在の如く軍需産業初め股産業が互に從業者の争奪戦を演じてゐたのでは淨動勞働者の數は益々増加し、生産力は低下し、勞働賃銀は昂騰し、従つて物價騰貴となり、凡そ現在國家の所期する總親和總努力の

精神に反することは勿論生産擴充や物價政策に多大の妨害を與へる事となるのである、政府は此の點に鑑み從業者間に職工争奪防止の紳士的協定を締結せしめたが、完全なる効果を見るに至らなかつたもので、従つて此の制限令の公布によつて從業者争奪戦は終息し産業の圓滿なる發展に寄與するところを望むのである、

農業

戦時下に即應の 農林計畫書(二)

増産に盡力的助成
注目される新規則
泥負虫の防除については薬劑購入費の四分の一以内で反當り二十錢以内▲稲の病害虫防除用噴霧機の購入については購入費の三分の一以内で一台當り四十圓以内▲部落團體活動促進施設については當該道府縣につき一團體當り平均十五圓以内▲米穀の増産に關する指導獎勵の施設については道府縣の費用または補助金の五分の四以内

▲蠶糸關係、繭増産獎勵金については市町村別生産基準數量に對する増産數量に應じ生繭一貫當り二十錢以内▲遠作防止施設については其の費用の三分の一以内で一團體五十圓以内▲速成菜園の設置についてはその費用の四分の一以内で反當り九圓以内▲桑の病害虫防除については藥劑購入費の四分の一以内で反當り五十錢以内▲繭の増産に關する指導獎勵施設については道府縣の費用に對し一道府縣當り三千圓以内道府縣の補助金に對し一養蠶組合聯合會當り六百圓以内、一養蠶業組合當り三百圓以内

▲木炭關係、木炭増産獎勵金については市町村別生産基準數量に對する増産數量に應じ木炭一貫當り一錢以内▲製炭の構築については其の費用の四分の一以内▲木炭の簡易運搬施設については其の費用の四分の一以内▲實地傳習施設については其の費用の二分の一以内▲木炭の増産に關する指導獎勵については其の費用の二分の一以内▲雪中製炭施設については其の費用の四分の一以内

スペイン GHN 元話

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

1939 を行く

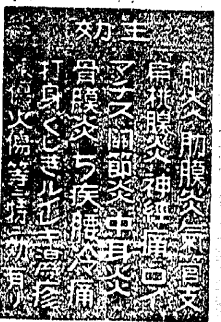
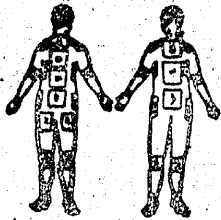
逸品揃ひに

晴雨兼用傘
子供服
帽子
子供

各種陳列

ツルヤ

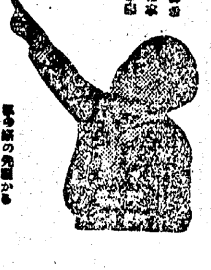
電一四〇



山野邊藥局

平市 五丁目角

此の薬は、
……
……
……



根本産婦人科醫院

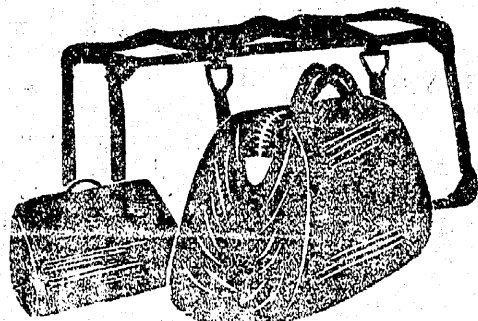
(入院隨時)

根本莊次郎
根本貞雄

債券、公債、
両替、金融
多田井質店

平市大町 電話五九一

カバと洋品類



眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新) (話電六) (話五)

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

九九・九電

レストラン サロシ

平市銀座街

電話五九二番

に變りました

喫食 専。 酒場を兼ねた。

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です

日下家政婦會

會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し 内科、小兒科の診療に従事せしむ

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏

内小兒科 院長 鈴木定藏
副院長 土井利明

皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸
物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日前八時より午後九時まで 夜間診療に從来す(急患は此の限りにあらず)

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士 婦人科 五十嵐雄二

平市新川町 電話二六九番

平田町(三丁目裏川岸通)

明堂堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり) 電話六六九番